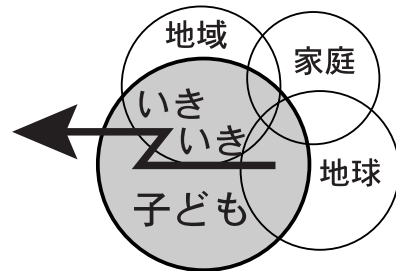


YMCA幼稚園・一年の行事



1学期

- 4月 入始園式
イースター礼拝
- 5月 思い出会
園外保育
体育参観
水泳参観
- 6月 ファミリープログラム
保育参観
避難訓練
花の日礼拝
- 7月 年中1泊保育
年長宿泊保育
- 8月 終業式
夏休み
夏期保育



2学期

- 9月 始業式
- 10月 運動会
おいもほり
- 11月 あきまつり
収穫感謝祭
保育参観
アドベント
- 12月 クリスマス会
終業式
冬休み



3学期

- 1月 始業式
おもちつき
年長ウインターキャンプ
ジョギング大会
- 2月 水泳参観
はるまつり
- 3月 体育参観
修了式
終業式



なかよしらんど

『なかよしらんど』は、地域の子育て支援事業の一環として月1回開催している地域開放親子プログラムです。奇数月は、YMCAしろがね幼稚園、偶数月は、YMCA松尾幼稚園を会場として行なっています。しろがね園児、小学生親子も参加

子育ては人のつながりによって

『なかよしらんど』ムによる世界の名作・昔話の映画上映とクラフトを、松尾台開催時は、伝承あそびと昔なつかしいおもちゃクラフト(少し現代的になったりも...)を中心に、毎回趣向をこらしています。在園児・卒園児・ウエルネス会員の方はもちろん、地域の未就園児、小学生親子も参加



子どもが安心してらるんです 抱きしめてくださる先生がいて

在園児の保護者をお迎えし、YMCA幼稚園の魅力についてお伺いしました。
*進行：藤岡宏樹(YMCAしろがね幼稚園園長) *参加者：村島綾子さん、山本真里さん(YMCAしろがね幼稚園保護者)

姿が見受けられます。子どもたちの横で見守りながら、時には手伝い、ご自分も一緒に作って製作に熱中される保護者の姿が見られます。子どもたちの様子を見ながら、偶然隣同士になった保護者がつながり

YMCA幼稚園 一般参加可能なプログラム	
なかよしらんど (松尾台)	6月、10月、2月
(しろがね)	5月、7月、9月、11月、1月、3月
こどもまつり (松尾台)	7月
バンビカーニバル (しろがね)	11月
園庭開放	7月、8月

藤岡：まずは、YMCA幼稚園をお選びになったポイントを教えてください。
村島：何度か芝生の園庭で遊んでいる子どもたちを見て、「素敵な幼稚園だな」と思っていました。実際に見学に来て、説明を受けながら幼稚園の中を見せただけだと、温水プールもあり、子どものことを考えた「環境」が気に入りました。すぐに「ここにしよう」と決めました。
山本：私の場合は、長女

(小学生)の水泳教室を探していて、「YMCAはいよいよ噂を聞いて見学に来たことがきっかけでした。リーダーの皆さんが、とてもよく子どもたちを見てくださっていました。視線が何かこう温かく感じました。幼稚園についてもとても好印象で、子どもたちのことをよく考えてくださっていることがわかりました。「人」が良かったんです。実は、既にかつていた幼稚園を辞め

人ひとりのことを先生方が、本当によくご存知で、それぞれペースに合わせ、今大切なことを、無理なくさせていたでいて感しています。
村島：言葉では上手く言い表せませんが、先生方が、時々、子どもをギュッと抱きしめてくださっていますよね。あのスキンシップがうれしんですよ。「いつもそばにいますよ。大丈夫だよ」と、子どもが安心してらるんです。
山本：色々なことが起こっている世の中で、いい人、いい大人、いい先生に出会えることは、子どもにとっても財産だと思います。藤岡：いつもそばにいて温かく見守る姿勢は、キリスト教保育の基本ですかね。
村島：私たちがたくさんいい影響をもらいましたよ。例えば、先生方の子どもたちへの関わり方を見て勉強になることがありま。一番は、誰にでも分け隔てなく対応が同じということなんです。いつも笑顔で、温かさを感じます。自分も成長しないといけないと思ひます。
山本：そうです。あの笑顔がいいんです。これがキリスト教保育の温かさなんだなと感じて、私も見習わな。だから、私も教会に行ってみようかなとも思ひたりします。
村島：2人目ということもあり、子どものことはわかつたつもりでしたが、一人ひとりが全然違

人格なんだということを確認できました。
山本：私たち大人は、いろいろな情報が入ってきて、頭が大きくなってしまいがちですが、先のことばかりを考えずに、一人ひとりの今を見る大切さがわかりました。
藤岡：それでは、最後に、YMCAについて何かお感じになることはありますか。
村島：幼稚園に入ってから初めて、YMCAが色々な活動をされていることがわかりました。
山本：「生きる力を育む」とあるじゃないですか。なかよしらんどや、園庭開放、そして、キャンプ、色々なお話を聴く機会もあります。できるだけ何でも参加してみたいななに出会って、そして気づかされる。そんな中で自分も「生きる力」を育んでいければなななと思っています。
村島：人との出会いの中で私も成長させられました。また、子どもが卒園してから、オープン講座のようにお話を聴ける機会があったり、ボランティアで関わったりできる機会があるといいですね。これからも何かできればと思っています。
藤岡：いくらでも関わってください。こひつじ文庫ボランティアや、ロビーボランティアも大歓迎です！
山本：何らかの形でいつまでも接したいところだと思っています。
(文責：編集室)